

## 実施事例



# ビートルバトラー カブ闘士 タイアップ 鹿児島県大崎町

鹿児島県大崎町で子どもたちに大人気のイベント「カブト虫相撲大会」を元にSANKYOがオリジナルキャラクター「ビートルバトラーカ

ブ闘士」を制作。オフィシャルガイドブックやスタンプラリー、グッズ等でイベントを盛り上げ、地域のPRに貢献しました！

### ■ まちの名物行事の魅力を発信

カブトムシをクヌギの切株の土俵上で戦わせるカブト虫相撲大会。毎年数百人を超える子どもたちが参加し、まちの名物行事の一つになります。そのカブト虫相撲をテーマにしたオリジナルキャラクターをSANKYOが制作。地元の人気イベントをさらに盛り上げるお手伝いをしました。

### ■ SANKYOがキャラクターを制作し、コンテンツを展開

空前のカブト虫相撲ブームが起きている架空世界で、カブトムシと心を通わせて戦うことができる子どもたち(ビートルバトラー)を主人公としたWebコミックやショートアニメを展開しました。



【ビートルバトラー カブ闘士】鹿児島県大崎町 第30回カブト虫相撲大会



### ■ 自治体間の連携企画にも活用

九州にはカブトムシの巨大モニュメントが鹿児島県大崎町の他、大分県佐伯市、長崎県平戸市にあり、2019年に開催された3カ所のモニュメントを巡るスタンプラリーでは、私たちが開発した「ビートルバトラーカブ闘士」がビジュアルイメージとして活用されました。



企画名:ビートルバトラー カブ闘士

カブト虫相撲大会タイアップ 鹿児島県大崎町

実施時期:2019年、2021年

募集内容:カブト虫相撲大会

展開場所:Webコミック・アニメ化

URL:<https://beetlebattler.s-contents.jp/>



# 担当者インタビュー ビートルバトラー カブ闘士

カブト虫相撲大会タイアップ 鹿児島県大崎町

## ■ まちの特長をリサーチ

鹿児島県東南部、大隅半島の東側に位置する曾於郡大崎町とのプロジェクトは、お付き合いのある企業の紹介を通じて、私たちのコンテンツ連携による地域活性化の企画に興味を持ってくださったことがきっかけでスタートしました。「まち」の知名度向上に寄与できるコンテンツを企画する際に、大崎町の道の駅にある巨大なカブトムシのモニュメントと30回開催されているカブト虫相撲大会に着目しました。



7月22日に鹿児島県大崎町で行われたカブトムシ相撲大会の様子をレポートするよ

【ビートルバトラー カブ闘士】鹿児島県大崎町第30回カブト虫相撲大会  
カブト虫相撲大会のレポート



道の駅 くにの松原おおさきにある巨大なモニュメント

## ■ カブトムシを題材にまちの認知度向上へ

持参したカブトムシをクヌギの切株の土俵上で戦わせるカブト虫相撲大会は、毎年7月下旬に開催され、夏休みをふるさとで過ごす子どもを含め、毎年数百人を超える子どもたちが参加し、まちの名物行事の一つになっていました。インパクトのあるモニュメント、多くの参加者がいるカブト虫相撲大会をフックにしたコンテンツで大崎町に貢献できると考えました。

## ■ キャラクターコンテンツの制作

大崎町の特徴でもあるカブトムシを活かしたオリジナルのキャラクターコンテンツ開発を行い、それを活用した大会支援と「まち」の認知度向上を狙うタイアップ企画は、関係各所から好評を得て取り組みを開始しました。

大会支援では、コンテンツの漫画配布やキャラクターバッグの配布など参加特典の拡充、トーナメントの早い段階で負けてしまった参加者を対象にしたスタンプラリーの実施を行い、会場と隣接する道の駅を結ぶ動線を設定し、まちの特産品を知ってもらう施策などを行いました。

キャラクターのコンテンツ展開は、Webを中心に漫画展開やショートアニメ展開、実写のカブト虫相撲動画など、子どもを中心に誰もが楽しめるコンテンツを提供しました。



ビートルバトラーカブ闘士のWebサイト



【ビートルバトラー カブ闘士】激闘ムービー11 HealesオオカブトVSアケティオンゾウカブト

世界のカブトムシの激闘ムービー

## ■ 自治体間の連携にもキャラクターを活用

コンテンツを活用した施策が高い評価を得たことがきっかけとなり、2019年に実施された九州のカブトムシの巨大モニュメントを結ぶスタンプラリー（鹿児島県大崎町、大分県佐伯市、長崎県平戸市）では、私たちが開発したキャラクターがビジュアルイメージとして活用されました。コンテンツ開発も好調で、YouTubeにアップロードした世界のカブトムシの激闘ムービーは100万再生を超えるコンテンツもあります。

## ■ カブト虫相撲をオンライン開催

30回以上実施されているカブト虫相撲大会は、コロナ禍に伴い2020年以降中止を余儀なくされています。こうした状況に対応し、2021年にはキャラクターたちが登場するカブトムシ塗り絵ゲームを利用した、オンラインバトル形式で大会が開催されました。自宅に郵送されるカブトムシの塗り絵に参加者が色を塗って名前をつけて返送し、塗り絵を反映したカブトムシがバトル画面で自動対戦するというのがオンライン大会の流れ。全国の子どもたちがオンラインでカブト虫相撲に参加しました。



社会福祉法人 愛生会 オンラインカブト虫相撲大会【予告】

オンラインカブト虫相撲大会の予告動画

## ■ 地域連携プロジェクトが目指すもの

遊技機業界において、漫画やアニメ、ゲームなど、著作権のあるコンテンツとのタイアップは新たなファン獲得に大きな意味を持ちます。こうした中、私たち事業企画部がミッションの一つとして掲げるのがSANKYO独自の知的財産(IP)創出です。その方法論の一つとして着目したのが、自治体様とのコラボレーションでした。大崎町との協業では、カブト虫相撲という資

産を活用したオリジナルコンテンツ開発が私たちのベネフィットです。一方、自治体様においては、ご当地キャラの展開は制約も多く、せっかくのキャラクターの魅力発信に至らないケースが少なくありません。ビートルバトラーカブ闘士では、私たちのIP創出ノウハウに基づき開発したキャラクターを自治体様が利用するというスキームが成立しています。